こどもがしるべき

コロサイへの

コロサイは、アジアとシリヤをぶのでした。なだけでなく、ののもあったです。そして、いろいろなとがざりったさなでした。

そこにたてられたが、コロサイです。パウロによってたてられたではなかったのですが、パウロからをいたエパフラスというによってたてられた教会でした。（コロサイ1:7-8、4:12）コロサイは、のにありましたが、のみこころにって、をしたいのは、まることなく、さらにがっていきました。

コロサイへのは、

1つ、イエス・キリストだけがののであることをしました。

そのは、であり、です。となってられ、でをしてぬことによって、とをさせてくださいました。（コロサイ1:15、20-22）

２つ、はキリストのにいることをしました。（コロサイ2:10-15、3:1）

たちはキリストのです。それゆえ、パウロはすべてのえとを、にねて、みことばにってきなければならないとしました。（コロサイ2:6-7、3:1-17）

は、エパフラスのように、をけたレムナントが、くすべてのをかすになることをっておられます。６には、このきにいられるように、ただイエス・キリストので、、のこと、のをつけましょう。